



吉野・宮滝万葉の道ハイキング 観察河川：吉野川 象の小川

桜の名所吉野ですが、今回は紅葉を愛でながら万葉の世に思いを馳せて歩きたいと思います。吉野離宮があったとされる宮滝から桜木神社、万葉集にも歌われた象の小川を見ながら高滝・稚児松地蔵と進み後醍醐天皇や楠木正行ゆかりの如意輪寺から吉野駅までのコースです。整備され歩きやすい道が多いですが、石畳の坂を下る時はストックがあるといいでしょう。

<担当：Cグループ 山本>

- 1：日時 2020 年 11 月 26 日(木) 9 時 50 分集合
降水確率 50%以上の場合は中止します。
中止の場合は前日午後 7 時までにメールでお知らせします。
- 2：集合場所 近鉄大和上市駅 改札出口
集合時間に来るためには、近鉄大阪阿部野橋駅 8 時 20 分発吉野行急行のみ
途中電車は切り離されるため先頭から 2 両目か 3 両目がベスト
- 3：持ち物 弁当、飲み物、雨具 ストック等
- 4：目的地 宮滝・象の小川・桜木神社・高滝・稚児松地蔵・如意輪寺
- 5：行程 約 8 km



地図の⑨から①に歩きます。

大和上市駅 9 時 48 分着 改札を出て右がトイレ。バスの乗車時間に余裕がありません。
コミュニティバス やまぶき号 9 時 55 分発。宮滝バス停 10 時 10 分着。
少し歩くと綺麗なトイレがあります。ここからハイキングのスタート。
コース 宮滝 ⇒ 桜井神社 ⇒ 象の小川 ⇒ 高滝 ⇒ 稚児松地蔵 ⇒ 如意輪寺 ⇒ 近鉄吉野駅
昼食は、稚児松地蔵から如意輪寺までの開けた場所を予定しています。(如意輪寺手前にトイレ)

○宮滝 天武天皇・持統天皇・聖武天皇らの行幸があった飛鳥・奈良時代の離宮（吉野宮）があったとされる宮滝。滝ではなく激流する「たぎつ瀧」。宮滝遺跡も近くにあります。

○桜木神社 天武天皇をお祀りしている神社。疱瘡除けの神社として信仰をあつめ、壬申の乱の前に吉野へ逃れた大海人皇子（後の天武天皇）が、大友皇子の追手に追われている際に、同地にあった桜の根元に隠れて難を逃れたという伝説があります。屋根付きの橋も風情があります。

○象（キサ）の小川　　吉野山の青根ヶ峰や水分神社の山あいには水源をもつ流れがこの川となって、吉野川に注ぎます。万葉集の歌人、大伴旅人もその清々しさを歌に詠んでいます。

昔見し 象の小川を 今見れば いよよさやけく なりにけるかも

○高滝　　象の小川沿いにあり、高さ 15 メートルの滝です。江戸時代には、吉野巡りの旅人がこの辺りで一息入れたらしく、本居宣長が訪れ「よろしき程の滝なるをひと続きにはあらで次々に刻まれ落ちるさま、またいとおもしろし」と菅原日記に書いている。

○稚児松地蔵　聖徳太子がこの場所で母子に出会い、生まれてきた子が鬼子だったため困っているという話を聞きました。聖徳太子がお祈りをすると、鬼子が落ち、その鬼子を祀ったのが稚児松地蔵とされています。

○如意輪寺　創建は延喜年間（901～923）と伝えられる、後醍醐天皇の塔尾陵あり。宝物殿には、楠木正行が出陣の際詠んだ、辞世の歌を鏤で刻んだ扉や、桜材の蔵王権現立像（重要文化財）などが陳列されています。境内には正行一行の髻塚もあります。



宮滝



桜木神社



高滝



如意輪寺